

授業コード/Code	科目名 / Course Title	担当者 / Instructor	履修年次 / Semester	授業形態・単位数 / Style・Credits	必修選択の別 / compulsory subjects or optional subjects
j29406	乳児保育 I	中西綾子	2年次・前期	講義・2単位	保育士必修

授業の概要 / Course Outline
<p>乳児保育の歴史をふまえて、乳児保育の意義と重要性と理解する。 また、乳児(0・1・2歳児)の発達と乳児保育の内容と方法を理解して、一人ひとりを尊重しながら保育を行う大切さを学ぶ。</p>

到達目標 / Attainment Objectives	ディプロマポリシーとの対応関係 / Relationship with the diploma policy
1. 乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割等について理解する。	A-② B-②
2. 保育所、乳児院等における乳児保育の現状と課題について理解する。	A-② B-①
3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制について理解する。	A-① B-②
4. 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。	B-① D-①

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation		
種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記) End of Semester Examination (Written)	50%	講義内容の理解を問う
レポート試験 Report Examination	0%	
実技試験 Practical skill test	0%	
平常点評価 Continuous Assessment	50%	授業への取り組み(コメントペーパー等)

教科書 / Textbooks
使用しない。毎授業時に資料を配布する。

参考書 / Reference Books
志村聡子著『初めて学ぶ乳児保育』第2版, 同文書院, 2019年 汐見稔幸・小西行郎・榎原洋一(編集)『乳児保育の基本』, フレーベル館, 2007年

予習・復習 / Preparation・Review
授業後は配布した資料を読み理解を深めること。試験では手書きの指定シートのみ閲覧可とする。指定シートについては授業内で指示する。従って、復習として、資料等をノートに整理することで理解を深めることを推奨する。(90分程度)

課題に対するフィードバック方法 / How to give feedback on tasks
毎回の授業冒頭に前回の授業のフィードバックを行う。

その他 / Others
乳児保育に広い視野がもてる様、様々な文化や海外の保育事情にも触れる。

授業スケジュール / Course Schedule

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業回数 Lecture	テーマ / Theme
	内容 / Contents
01	オリエンテーション・乳児保育とは
	授業の進め方の説明と、乳児保育とは何か、なぜ必要か社会的背景から考える
02	乳児保育の歴史的変遷
	今と昔の子育て文化について考える。
03	胎児から乳児へ
	身体や感覚器官など新生児について理解する。
04	乳児保育と保育所・家庭的保育・小規模保育室
	保育所・家庭的保育・小規模保育室における乳児保育について理解する。
05	乳児保育と保育所以外の児童福祉施設
	乳児院等における乳児保育について理解する。
06	乳児保育と3歳児以降の保育への移行
	保育の連続性について考える。保育者の連携について考える。
07	3歳未満児の発育・発達
	3歳未満児の発育や発達の側面から、子どもの生活と遊びを考える。
08	乳児保育における「養護」と「教育」
	「養護と教育を一体的に展開する」について理解する。
09	乳児の生活① 授乳・離乳・乳児食
	乳児期の機能の発達と食の形態を知る。
10	乳児の生活② 乳児保健・健康
	乳児期の健康状態の把握と病気・感染症さらに感染予防を学ぶ。
11	乳児の生活③ 排泄・清潔
	排泄の自立までと清潔の習慣について学ぶ。
12	乳児の生活④ 睡眠・休息
	睡眠の必要性和体内リズムについて理解する。早寝早起きの重要性について考える。
13	乳児の生活⑤ 運動・遊び
	運動と遊びの連立、発達を促す生活と遊びを学ぶ。
14	乳児保育における連携と協働
	乳児保育における職員間や保育者と家庭、地域との連携の重要性を学ぶ。
15	まとめ、一人ひとりの乳児にあわせた保育の実現に向けて
	講義内容の総括。乳児の一人ひとりにあわせた保育について考える。